

小学校再編統合について意見交換

北秋田市小学校再編整備計画に係る市民との意見交換会から

市教育委員会では、昨年8月から今年2月にかけて、市が進める小学校再編整備計画について住民との意見交換会を開き、計画を説明するとともに、質問や要望を受けました。

意見交換会が開かれたのは、前期計画（19～23年度）で統廃合の対象となる竜森小・鷹巣南小、合川南小・西小・東小・北小、浦田小学校の各学区。各校の保護者や地域の代表者などからさまざまな意見・要望が出されました。その概要をご紹介します。

竜森地区(竜森小)では鷹巣南小との統合に合意



▶ 竜森小での意見交換会（平成19年8月17日）

▲各地区で開かれた意見交換会では、保護者や自治会の方々からさまざまな意見・要望が出されました

市立小学校の学校数は現在、鷹巣地区が7校、合川地区4校、森吉地区3校、阿仁地区2校の16校。児童数は、昭和34年の1万1千147人をピークに減少傾向に転じ、新市が誕生した平成17年度は1938人と、5分の1以下にまで減少し、学校の小規模化が顕著になっています。

市教育委員会では、このような現状を踏まえ、平成17年8月、小学校再編整備計画プロジェクトを設置、市立小学校の適正規模・適

正配置等について検討を重ね整備計画の素案を作成しました。

また、同年11月には20人の市民による整備計画の検討委員会（柳山敏幸委員長）が発足、市教委がまとめた素案の内容を検討、19年3月には岸部市長に対しその答申が出されました。

市教委では答申の意見を反映させた素案をもとに、昨年8月から今年2月にかけて、再編整備によって統廃合の対象となる学区の住民との意見交換会を実施したものです。

計画では、市内の16校を19年度から28年度までの10年間で9校に統合、うち前期計画（19～23年度）では▽竜森小を鷹巣南小に統合▽浦田小を米内沢小に統合▽合川地区の4校を統合して新たな学校を作る、こととしています。

また後期計画（24～28年度）では▽鷹巣西小を鷹巣小に統合▽鷹巣中央と鷹巣南を統合して新校舎を建設することになっています。意見交換会は、昨年8月、統廃合のトップバッターとなる竜森小

学校の竜森地区から始まり、今年2月までに7校の学区及びあいかわ保育園が開かれました。

市教委では、保護者や関係集落の自治会長らが出席した各地区の会場（小学校等）で、市の小学校の現状や学校教育・施設についての基本的な考え、整備計画の概要を説明した上で、住民のみなさんから意見や要望を伺いました。

竜森地区では昨年8月17日と今年1月22日の2回開かれ、同小の閉校と鷹巣南小への統合について合意を得ています。

合川地区では、早期統合を望む声が大半を占め、新校舎の建設場所などについて関心が寄せられました。

浦田地区では、昔は一部が前田小学校であったことの話や学校存続を望む声もありました。

各会場で出された主な質問や意見、市教委の回答は次のとおりです（青字は回答）。

前期計画対象の7校(学区)での意見・要望など

【竜森小学校(平成19年8月17日)】
▽前期計画で鷹巣南小と、後期で鷹巣中央小と統合するが、1回でできないか。

【鷹巣南小学校(平成20年1月24日)】
▽竜森小と鷹巣南小が統合しても人数は増えないのでは。
▽後期計画では、鷹巣南小と鷹巣中央小の統合を計画している。竜森小での意見交換会では、一度に3校統合の意見もあった。また、検討委員会では、高校統合後の鷹巣高校利用や跡地利用を前提とした意見もあった。
▽鷹巣南、中央のいずれも現校舎では2校の児童を収容できないのか。
▽現在の児童数では不可能。築37年を経過していることもあり、財政事情にもよるが計画後期での建築を予定している。

【合川南小学校(平成20年2月7日)】
▽合川南小は規模も小さく、統合は切実な問題。複式学級の解消など子どもたちの将来を考え、早く進めてほしい。合川地区管内での統合は前期になっているが、具体的な年度は、
▽前期計画として進めているが、23年までに校舎を完成させるのは財政的にも難しい。4学区の合意を得て建設場所を決め、23年度までには着手したい考え。
▽統合後の学級数の見込みは
▼統合年度にもよるが、24年度だと10学級、25年度だと8学級。
▽道城地区は米内沢小への学区変更もあるのでは。

【合川西小学校(平成20年2月8日)】
▽統合は早いほうがよい。4小学校のいずれかの校舎を補修して使用できないか。

北秋田市小学校再編整備計画（案）		
現状	前期	後期
19年度	19～23年度	24～28年度
鷹巣	鷹巣	鷹巣 (既存校舎)
鷹巣西	鷹巣西	
鷹巣東	鷹巣東	鷹巣東
綴子	綴子	綴子
鷹巣中央	鷹巣中央	仮称 鷹巣南 (新築)
竜森	鷹巣南 (既存校舎)	
鷹巣南		
米内沢	米内沢 (既存校舎)	米内沢 (新築)
浦田	前田	前田
前田	阿仁合	阿仁合
阿仁合	大阿仁	大阿仁
大阿仁	仮称 合川 (新築)	仮称 合川
合川東		
合川西		
合川南		
合川北		
16校	11校	9校

▼竜森小、鷹巣南小の規模を考えるとそのとおりだが、南小、中央小とも現校舎では3校の児童が入りきらない。また前期は合川地区の小学校の建設計画もあり、財政的な事情もある。
▽以前からいざれ統合の時期が来ることはわかっていた。米代川から南側に小学校1校、中学校1校（鷹巣南中）とし、できるだけ早く建設してほしい。建設時期は。
▼後期計画（24～28年度）だが年度は未定。後期では米内沢小の改築とともに、鷹巣南小、中央小の統合を進めることになる。
▽統合後の校舎の用途は。
▼基本的には解体だが、地域のみなさんの意見を聞きながら有効活用を図りたい。使用の希望などが

あった場合も関係部所と協議して有効利用したい。
▽統合後の通学方法は。
▼スクールバス運行になる。
▽あいさつや地域との関わりを考えるとここほどよい学校はない。むしろ児童が多い学校の子を竜森小に入れたらよいと思うのに、なぜ統合なのか。
▼ある程度の集団・規模の中で切磋琢磨して成長できる教育環境と学校教育の充実が必要と考えている。

▽低学年、高学年でそれぞれ下校時間が違う。その対応は。
▼朝は1便、帰りは時間帯にあわせて送ることになる。
▽学校間交流の頻度は。
▼現在でも、鷹巣南、竜森小で学期ごとに1回づつ行われているが、今後はさらに機会が増える。竜森小の大きな特色である育林学習、育林活動は伝統を引き継ぎ統合後も展開したい。

【鷹巣南小学校(平成20年1月24日)】
▽竜森小と鷹巣南小が統合しても人数は増えないのでは。
▽後期計画では、鷹巣南小と鷹巣中央小の統合を計画している。竜森小での意見交換会では、一度に3校統合の意見もあった。また、検討委員会では、高校統合後の鷹巣高校利用や跡地利用を前提とした意見もあった。
▽鷹巣南、中央のいずれも現校舎では2校の児童を収容できないのか。
▽現在の児童数では不可能。築37年を経過していることもあり、財政事情にもよるが計画後期での建築を予定している。

【合川南小学校(平成20年2月7日)】
▽合川南小は規模も小さく、統合は切実な問題。複式学級の解消など子どもたちの将来を考え、早く進めてほしい。合川地区管内での統合は前期になっているが、具体的な年度は、
▽前期計画として進めているが、23年までに校舎を完成させるのは財政的にも難しい。4学区の合意を得て建設場所を決め、23年度までには着手したい考え。
▽統合後の学級数の見込みは
▼統合年度にもよるが、24年度だと10学級、25年度だと8学級。
▽道城地区は米内沢小への学区変更もあるのでは。

【合川西小学校(平成20年2月8日)】
▽統合は早いほうがよい。4小学校のいずれかの校舎を補修して使用できないか。